

製品名: TNAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19082**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	ALPL
別名	ALPL; Alkaline phosphatase; tissue-nonspecific isozyme; AP-TNAP; TNSALP; Alkaline phosphatase liver/bone/kidney isozyme
遺伝子 ID	249.0
SwissProt ID	P05186
免疫原	抗血清はヒト ALPL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

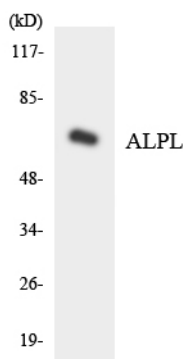
この遺伝子は、アルカリホスファターゼファミリーに属するタンパク質をコードしています。少なくとも 4 つの異なるが関連のある

アルカリホスファターゼ、すなわち腸管型、胎盤型、胎盤様型、および肝臓 / 骨 / 腎臓型（組織非特異的）が存在します。最初の3つは2番染色体に共存し、組織非特異的型は1番染色体上に位置しています。この遺伝子産物は膜結合型糖化酵素で、特定の組織では発現しないため、組織非特異的型と呼ばれます。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つは、タンパク質分解によって成熟酵素が生成されるプレプロタンパク質をコードしています。この酵素は骨の石灰化に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、高カルシウム血症と骨格異常を特徴とする疾患である低ホスファターゼ症との関連が指摘されています。[provcatalytic activity:リン酸モノエステル + H(2)O = アルコール + リン酸。]補因子:1つのマグネシウムイオンを結合します。補因子:2つの亜鉛イオンを結合します。疾患:ALPLの欠陥は、低ホスファターゼ症成人型（低ホスファターゼ症）[MIM:146300]の原因です。疾患:ALPLの欠陥は、低ホスファターゼ症小児型（低ホスファターゼ症）[MIM:241510]の原因です。疾患:ALPLの欠陥は、低ホスファターゼ症乳児型（低ホスファターゼ症）[MIM:241500]の原因です。低ホスファターゼ症は、骨の石灰化の欠陥を特徴とする遺伝性の代謝性骨疾患です。発症年齢によって、周産期型、乳児型、小児型、成人型の4つの低ホスファターゼ症型が区別されます。周産期型は最も重篤で、ほぼ常に致命的です。乳歯が早期に脱落するが骨疾患のない患者は、歯性低ホスファターゼ症（歯性低ホスファターゼ症）とみなされます。機能:このアイソザイムは、骨の石灰化に関与している可能性があります。その他:ほとんどの哺乳類には、胎盤性、胎盤様、腸管、組織非特異的（肝臓/骨/腎臓）の4つの異なるアイソザイムがあります。オンライン情報:アルカリホスファターゼエントリ,オンライン情報:組織非特異的アルカリホスファターゼ遺伝子変異データベース,PTM:グリコシル化されています。類似性:アルカリホスファターゼファミリーに属します。サブユニット:ホモ二量体,

研究分野

葉酸の生合成

画像データ



ALPL 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。